

# 「有明海・八代海を科学する」

日本最大級の干潟をもつ有明海・八代海は世界的にも特異で貴重な海域です。豊富な水産資源をもつ同海域も、近年、早急に解決しなければならない多くの問題が発生しています。熊本大学沿岸域環境科学教育研究センターと熊本県水産研究センターでもこの問題に取り組み、その成果を市民講座として紹介してきました。今年も、その後の研究成果をもとに内容の充実をはかり、下記のとおり市民講座を開催することとなりました。6回の講義では、沿岸域の生物・環境に関する最新の科学的研究成果をわかりやすく解説し、干潟沿岸域の環境の保全創造について皆さまと共に考えたいと思います。多数のみなさまのお申し込みをお待ちしております。

**対象** 一般市民(80名)

**日時** 下記の期日の  
午後6時30分～8時00分

**参加費** 無料

**場所** 熊本県民交流館パレア  
熊本市手取本町8番9号  
テトリア熊本ビル9階第1会議室

講義:第1回  
10月1日(水)

- ・開催にあたって 内野明德(熊本大学 沿岸域環境科学教育研究センター長)
- ・「有明・八代海の現状とより良い環境創りに向けて」  
滝川 清(熊本大学 同センター教授)

講義:第2回  
10月8日(水)

- ・「熊本県のノリ養殖について」  
松尾 竜生(熊本県水産研究センター浅海干潟研究部研究主任)

講義:第3回  
10月15日(水)

- ・「干潟生物の巣穴が果たす役割」  
嶋永 元裕(熊本大学 同センター准教授)

講義:第4回  
10月22日(水)

- ・「貝類を通して見た熊本県の沿岸環境」  
逸見 泰久(熊本大学 同センター教授)

講義:第5回  
10月29日(水)

- ・「養殖ノリ糸状体の環境ストレス応答」  
瀧尾 進(熊本大学 同センター教授)

講義:第6回  
11月5日(水)

- ・「堆積物に記録された熊本沖有明海の環境変化」  
秋元 和實(熊本大学 同センター准教授)

実習

10月23日(木)

- ・バスと実習船による見学と調査実習  
上記講義を受講されない方でも受け付けます。

\*船上実習も計画していますが、天候その他の事情により実施できない場合もあります。



## 申し込み方法

電話、ファックス、電子メールのいずれかにて下記にお申し込み下さい。  
ファックス、電子メールの場合、〒住所、氏名、年齢、電話番号をご記入下さい。

講義の申込:9月24日(水)までに先着順で定員80名で受付ます。  
実習の申込:9月24日(水)までに講義受講者を優先して定員25名  
で受付ます。

## お問い合わせ先

〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1  
国立大学法人熊本大学  
研究・国際部研究支援課 上野・有田  
TEL.096-342-3143(直通) FAX.096-342-3149  
E-mail: gjk-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp